

心のこもった良質な医療を提供し、地域の医療と人材育成に貢献します

すまいるみと

特集 新年のごあいさつ、巳年生まれの方から一言

Vol.105

令和7年1月16日発行

連載 いきいき健康教室 部門紹介：栄養部
ナースのお仕事 News Report

TAKE FREE



夜の散歩道



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院

巳年生まれの方から一言



医師の働き方改革によるタスクシフト / シェアが専門的かつ安全に移行し、患者さんやご家族がその恩恵を最大限に受けられるよう、微力ながら力を尽くしていきたいです。

4階西病棟 看護師
木村 篤史



水戸協同病院に就職して初めての新年を迎えることが出来ました。臨床での仕事にも慣れ業務を任されることも多くなりましたが、新人でまだまだ未熟なので先輩方にご指導いただき成長していきたいと思います。

臨床工学部 臨床工学技士
根本 洸希



今年の目標は、患者さんに寄り添った栄養指導を行うことです。一方的に情報を伝えるのではなく、患者さん自身が主体となれるような伝え方を心がけ、「やってみよう」と思ってもらえる信頼関係を築いていきたいです。

栄養部 管理栄養士
熊坂 愛美



今年の目標はボランティア活動に力を入れることです。病気の子どもの夢を叶えるお手伝いをする団体や「こども時間」を届ける団体、盲導犬協会の活動に協力したいと思っています。日常に感謝しつつ、誰かの幸せに役立てる1年にしたいです。

薬剤部 薬剤師
福田 真実



新年明けましておめでとうございます！今年、私は還暦を迎え、巳年として新たなスタートを切ります。長年診療放射線技師として患者さんと向き合ってきた経験をもとに、今年も安心と笑顔を届けられるよう頑張ります。よろしくお願いします！

放射線部 診療放射線技師
中島 利器



新年あけましておめでとうございます。昨年に引き続き、本年も丁寧な対応・接遇を心掛けながら業務に取り組みたいと思います。皆様にとって健康で幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

医事課 事務員
久保田 紗緒莉



新年のごあいさつ



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連総合病院水戸協同病院
病院長 秋月浩光



2025年は巳年ですが、WHO(世界保健機関)のシンボルマークにヘビが描かれているのをご存知でしょうか。1948年、第1回世界保健総会で選ばれたそのマークには、国連の紋章の上にヘビが巻き付いた杖が描かれているのです。同様に、世界の救急車や医師会などのロゴマークにもヘビが描かれています。

ヘビは十二支にある生き物の中では唯一爬虫類で、どちらかというと可愛らしいという評価は得られ、難しい少し可哀想な動物かもしれないませんが、実は、遙か昔から医学と医療職の象徴とされてきました。このヘビが巻き付いた杖を持っていたのはギリシャ神話の中で「治療の神」として多くの人の命を救い崇拝されていたというアスクレピオスでした。彼は他の神様たちが危機感を覚えるほど人を救ったといえます。脱皮しながら若返りを繰り返す様や、その毒素から血圧を下げる薬や止血剤など様々な薬効成分が発見されたという事実、そしてがんや認知症の治療薬としての可能性についての研究も行われていることから、ヘビが医学の象徴であることに頷くことができます。

2025年、私たちは本格化する超高齢化社会の入り口に立っています。すなわち、団塊の世代が後期高齢者になることで日本人の5人に1人が75歳以上という時代に突入します。これからの地域医療を

持続可能なものとし、健康保険や介護保険制度などの社会保障制度を維持してゆくためには、私たち一人ひとりの健康寿命を伸ばすことが必要です。適正な栄養、運動、睡眠、喫煙や飲酒といった生活習慣の見直し、認知機能、摂食機能や足腰の筋力維持、衛生的な環境づくりや感染対策などについて、家庭や学校、職場などでも話し合ってゆく必要があります。また、それぞれが医療や福祉に何をどれだけ求めるかについても考えてゆく必要もあるかも知れません。病気の早期発見のために健康診断や人間ドックを受けることも必要です。また、もしもの病気や怪我の際には、どこにどのように受診するべきなのかについても確認しておく必要があると思います。

昨年は、医師の働き方改革が本格施行されましたが、その本質は労働環境を整え過労を避け、診療効率や治療成績を高め、質の高い医療サービスを提供し、地域の医療介護機能と、より密接にリンクしながら、自らの機能を高め、課せられた役割を効率的に果たしてゆく必要があります。どの時代にも医療と教育だけは妥協は許されません。

医の象徴である巳の年を迎えるにあたり、当院は、心のこもった良質な医療を提供し、地域の医療と人材育成に責任を果たして参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

部門紹介



栄養部

栄養管理と給食管理の両面から、病気の治療・回復・合併症の予防を目指して、患者様をサポートしていきます。



広島県郷土料理「もふり」
(2024年7月提供)

栄養部は、管理栄養士9名・事務1名・調理師10名・調理補助13名で、大きく分けて二つの業務を行っています。

一つは、病院食の提供を行う給食管理業務、もう一つは、入院中の患者様の食事内容の調整や提案、退院に向けての食事指導等を行う栄養管理業務で、外来での食事指導も実施しています。

病院直営の厨房で入院患者様への食事提供を行っており、安心安全な食事提供はもとより、患者様が食事の楽しみを感じて頂けるよう、正月やクリスマスなどの行事食の他、「全国厚生連統一献立の日」と称し、厚生連病院が所在する道県の郷土料理を、全国の厚生連病院で同日に提供する取り組みを行っています。

■誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）とは？

病気（脳血管疾患や神経疾患等）や加齢により飲み込みの力が低下すると唾液や食べ物が誤って気管に入り（誤嚥）、細菌が肺に入り込みやすくなります。それにより起こるのが誤嚥性肺炎です。

■誤嚥性肺炎に要注意



こんな症状はありませんか？ 日頃から注意してみましょう！

- ・ 食事中にむせる
- ・ のどにつっかかる感じがする
- ・ 食後に声が変わる（ガラガラ声）
- ・ 食事・水分摂取量が減った
- ・ 発熱が続く、痰が増える
- ・ 体重の減少 など

上記の症状がある場合には、摂食嚥下障害の可能性があります。
食事の内容について考えてみましょう。

摂食嚥下障害（せつしょくえんげしょうがい）

食べ物が口から胃まで運ばれるまでの過程で問題が生じ上手く飲み込めない状態

■食事の工夫で誤嚥を防ごう

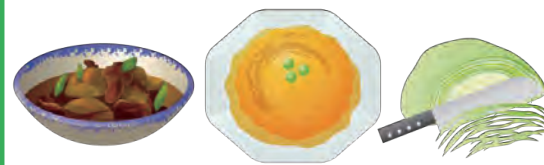
気をつけたい食感と食品

注意

- ・ パサパサしたもの（パン、カステラ、イモ類、クッキー等）
- ・ サラサラしたもの（水、お茶、ジュース、汁物類等）
- ・ バラバラしたもの（たこ、いか、ごぼう、かまぼこ等）
- ・ ベタベタしたもの（餅、団子等）

調理のポイント

- ① 柔らかく煮込む
- ② とろみ等をつけて
まとまりやすくする
- ③ 噛みやすいように繊維を断つ



調理以外の方法

- ・ ドラッグストアやスーパーで市販されている介護食（ユニバーサルデザインフードの表示がある商品等）
- ・ 通信販売での介護食

全て手作りではなく市販等の食品も上手に使いましょう。

いきいき健康教室

「飲み込みにくさはありませんか？」
食事で防ぐ誤嚥性肺炎

リハビリテーション部
言語聴覚士 塩谷 晴香

今回は、いつまでも安全に美味しく食事が摂れるように、誤嚥性肺炎や飲み込みの力が低下した方の食事の工夫についてお伝えしたいと思います。

News Report

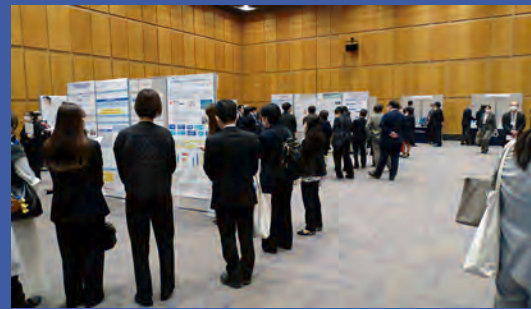
i from MKGH

第22回日本医療マネジメント学会 開催されました

2024年11月30日に第22回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会（会長 水戸協同病院長 秋月浩光）が、つくば市の国際会議場（エポカルつくば）にて開催されました。「変容し続ける医療現場をマネジメントし、明るく楽しい職場を創り出す」をテーマに、様々な研究演題が発表されました。

開催のあいさつで、秋月浩光 病院長は、「ITによって職場環境が大きな変貌を遂げているが、『組織は人なり』である。人と人とのつながりの大切さを改めて考え直す機会になってもらえれば幸いである」と話しました。学術集会には主に県内の医療従事者の328人が参加し、大盛会となりました。

茨城県支部学術集会が



茨城新聞に記事掲載

2024年11月27日発行の茨城新聞にて、柴田靖脳神経外科部長による頭痛に関する記事が掲載されました。

頭痛の診断は難しく原因となる病気の鑑別が必要であること、また、専門医への受診などを詳しく説明しました。また、当院における頭痛の患者さまへの診療態勢についても紹介しています。



第2・第4土曜日の外来診療休診について

現在、土曜日の外来診療は午前のみ通常診療で行っていますが、令和7年4月より、第2・第4土曜日の外来診療をすべて休診させていただくことになりました。

令和7年4月以降の診療予約等につきましては、各診療科にご相談下さいますようお願い申し上げます。



ナースのお仕事

Vol.06

入院時から始まる退院支援

当院は緊急・重症な患者さんに対して、専門的な医療を提供する「急性期病院」の役割を担っています。急性期の治療が終了すると、患者さんのQOL（生活の質）を維持するために、早期退院を目指しています。リハビリや治療などを継続する場合は、他院の回復期リハビリテーション病棟や亜急性期病床へ転院する場合もあります（図1）。

退院について不安や心配事は

医師や看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士等と連携しながら、医療ソーシャルワーカー（MSW）や退院支援看護師が相談に乗ります。地域でどのような治療を継続していくのか、障害や病気を抱えながらどのような生活を送りたいかなど、患者さんや家族の方の気持ちを尊重しながら意思決定や在宅療養生活への支援を行います。

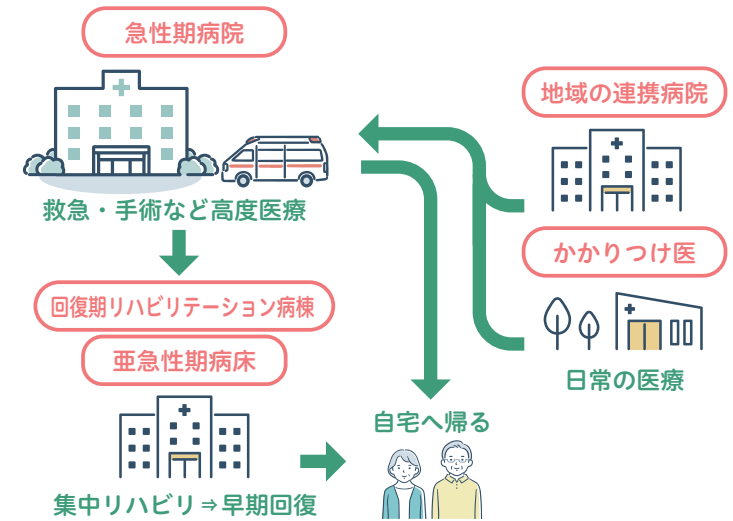
退院支援看護師の役割

①退院支援が必要な患者さんのスクリーニングを実施
・患者さんの中から、今後の生活で何らかの支援が必要と思われる患者さんを抽出することを「スクリーニング」といいます。

②退院支援の方向性を決めます。

③退院後に使用する制度やサービスの調整を行います。
・3つのステップで行われますが、医療者主導ではなく、患者さんご家族の意向に沿った形で退院支援するように行っています。

図1 地域の病院との役割分担



ポイントは、退院後も継続する医療を予測し、入院前の生活背景を踏まえて、入院が決まった段階で行っています。



「その人がなぜ退院できないのか」ではなく「どうしたら退院できるのか」を考え、その人に合った退院支援が出来るように努めています。退院する患者さんの数だけ支援があります。今まで行ってきた経験と実績をもとに、これからも患者さん、ご家族様に寄り添い、その人に合った退院支援を提供し、安心して地域で生活できるお手伝いをしていきたいと思っています。

退院支援業務を看護師が行う理由

退院支援業務を看護師が行う理由は、入院時からのもとも患者さんに近い立ち位置にいる医療職であり、その人らしく日常生活を送ることを援助するプロであること、仕事上コミュニケーション能力が高いことがなどが挙げられます。

退院支援専従看護師長 大場めぐみ



Cover Page PHOTO

表紙の写真は「第6回すまいるみと表紙作品コンテスト」で最優秀賞を受賞した作品です。
このコンテストは水戸協同病院で働くすべての方を対象に公募形式で行われ、数多くの応募の中からあほうどりさんの作品が最優秀賞に選ばれ、その他1名の作品が優秀賞に選出されました。

最優秀賞 (表紙写真)

作品名：「夜の散歩道」
作者名：あほうどり

最優秀賞受賞者コメント

仕事の帰りに千波湖でウォーキングをすることがあるのですが、ふと街のほうに目をやると、水面に映る夜景とスキのコントラストが綺麗でしたので撮ってみました。

優秀賞 (1点)

作品名：「台湾の夜」
作者名：てら



病院理念

心のこもった良質な医療を提供し、地域の医療と人材育成に貢献します

基本方針

1. 安全で良質な医療を提供します
2. 患者様の権利を尊重し、説明と同意に基づく医療を進めます
3. 総合診療体制で地域の救急医療に貢献します
4. 医療・保健・福祉を通じて地域医療連携を推進します
5. 地域で活躍する医療人を育てます
6. 幅広い診療能力と温かい心を備えた医師を育成し、全人的医療を実践します
7. 以上を実現するために健全な病院経営に努めます

J Aさわかモーニング MON ~ THU AM9:35 ON AIR

茨城県厚生連では Lucky FM 茨城放送で医学解説を放送しています。

【第3火曜日】
やさしい医学解説

【第4・5水曜日】
メディカルインフォメーション

Lucky FM 茨城放送

FM 水戸局 94.6MHz
日立局 88.1MHz

AM 水戸局 1197kHz
県西・土浦局 1458kHz



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院

初期臨床プログラム

研修の理念 2024

グローバルスタンダードな診療の質、診療できる領域の広さ、教育・研修の環境を提供する

基本方針

- 1) グローバルスタンダードな医療を、日本の地域診療に応用できる。
- 2) 専門科の垣根を超えて、患者さんに必要な医療、患者さんが求める医療を適正に提供できる。
- 3) ベッドサイド学習を中心に、標準的な医学・医療知識および診療・治療スキルの習得ができる。
- 4) 高齢化し、複数の疾患が複雑に絡み合う患者さんを、専門科の垣根を超えて総合的に診ることが出来る。
- 5) 多職種と協働して、チーム医療の一員となり、必要時にはリーダーシップを発揮できる。
- 6) 研修を通して人格を涵養し、プロフェッショナリズムを身に付ける。



水戸協同病院は、マルバ水戸 FC を応援しています。



水戸協同病院広報誌

すまいるみと

Vol.105
令和7年1月16日発行

発行所／ 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連総合病院水戸協同病院
〒310-0015 茨城県水戸市宮町 3-2-7
TEL：029-231-2371

<https://www.mitokyodo-hp.jp>

発行人／ 秋月浩光 編集／広報室 JA 茨城県厚生連総務部